



IAI 海外の動向

技術統合委員会
中電コンピューターサービス株式会社
天羽 庸子



技術統合委員会



IAI International の組織 (近日見直し予定)

ITM (技術サイド)

- International Technical Management

議長: *ITD*

- International Technical Director

メンバ:

・各国支部 *TC*

- Technical Director (技術統合委員長)

・*RAC*

- Research Advisory Committee(学究機関からのアドバイザー)

・*STF*

- Specification Task Force(仕様開発グループ)

・*SIC*

- Software Implementation Committee(ソフトウェア開発グループ)

オブザーバ:

*ICM*メンバー、*IBM*、各国支部トメインリーダー

ICM (運営サイド)

- International Council Management

議長: *Chair*

メンバ:

・*ExCom*

Executive committee(幹事国会)

・各国支部 *Council*と副*Council*

- (会長、副会長)

・*ITD*

- ITM代表

・*IBM*

- International Business Manager

・マーケティングを扱う部署を検討中

オブザーバ:

*RAC*リーダー、*STF*、*SIC*リーダー

会

各グループのリーダー

ITD : Mr. Richard See (北米 Visio)

AITD : Mr. Jiri Hietanen (フィンランド Tekes)

TC : 日本支部 高本氏 (構造計画研究所)

RAC : Dr. Vladimir Bazjanic
(北米 University of California, ロレンス・バークレー国立研究所)

STF : リーダーはITDのMr. Seeが兼任

SIC : Rasso Steinmann (独 Nemetscheck)

Chair : Mr. Arto Kiviniemi (フィンランド VTT)

ExCom :

Chair : Mr. Arto Kiviniemi (フィンランド VTT)

幹事 : Mr. Patrick MacLeamy (北米 HOK)

Prof. Richard Junge (ドイツ Munich 技術大学)

Mr. John Michell (オーストラリア)

山下純一 (日本 フジタ)

副幹事 : Mr. Brian Zelly (英 LAING)、

次席 Ian Howell (北米 Autodesk)

各国支部 Council

日本支部 庄子会長 (鹿島建設)

IBM : Mr. Christopher Groome (イギリス)

STFの状況


■ **メンバー** :

■ 10名の内、スポンサー付き(一部含む)7名 + 日本支部候補者1名

- | | | |
|-----------------------|-----|---------------|
| ■ Drogemuller, Robin | AU | CSIRO |
| ■ Forester, Jim | NA | Marinsoft |
| ■ Hietanen, Jiri | NO | ToCoMan/Tekes |
| ■ Hyvarinen, Juha | NO | VTT |
| ■ Karstila, Kari | NO | EuroSTEP |
| ■ Liebich, Thomas | GS | AEC 3 |
| ■ Monceyron, Jean-Luc | FS | CSTB |
| ■ See, Richard | ITM | Visio/IAI |
| ■ Wix, Jeffrey | UK | AEC 3 |
| ■ Yu, Kevin | NA | Timberline |

■ **オブザーバ** :


- | | | |
|----------------------|-----|------------|
| ■ Bazjanac, Vladimir | RAC | US-LBNL |
| ■ Steinmann, Rasso | SIC | Nemetschek |



海外支部の活動状況 (1)

- **オーストラレシア(オーストラリア・ニュージーランド圏)支部** (20社)
 - Mr.Robin Drogemuller(CSIRO)
 - CSIRO(通産省系の総合技術研究所)から5年間の予算
 - STFメンバの派遣
 - 積極的なセミナーの開催 →
 - 来年度にはインプリメンテーションプロジェクトの開始予定
 - 日本支部に業界セミナー講師依頼有り
- **フランス語圏支部** (70社)
 - Mr.Patrice Poyet(CSTB)
 - CSTB(建築技術研究所)主体だったが？
 - 業界よりの参加に移行？
 - 既存の標準(例:製品分類表)を取り込むプロトタイプを検討


IAI日本支部 技術統合委員会



海外支部の活動状況 (2)

- **ドイツ語圏支部**(100社 - 大学、研究機関含む)
 - Prof. Richard Junge(ミュンヘン技術大学)
 - AutoCADのIFCインターフェース開発部隊は現在ドイツAutodesk
 - Nemetschek(non-AutoCAD主要ベンダ)の活発なインプリメンテーション活動
 - プロダクトモデルと2次元図面とのリンクをサポートする規格の必要性を当初より強く主張
 - STEP関連のSTEP-CDSやIFCが検討しているDXF IIもドイツ主導
 - 土木関連の国内プロジェクトがあり、IFCとの協調路線の方向
 - IFC対応の初製品はドイツのNemetschekの予定であったが、R1.51の内容とスケジュールの問題で、ACSでの発表は見送り
- **韓国支部**(15社)
 - Prof. Inham Kim
 - 準備段階(IAIとIFCの勉強中)
 - KCALS2005プロジェクトの基本技術としてIFCを採用か？


IAI日本支部 技術統合委員会



海外支部の活動状況 (3)

- **ノルディック支部**(134社) Mr. Jan Karlshoej(Carl Bro)
 - デンマークの動きが活発である
 - 新支部長のProf. Ottosenは、国より3年の資金付きで就任
 - テクニカルディレクターもデンマークより選出
 - コアのフィンランドVeraプログラムは、活発に推進中(IFC間連28プロジェクト) **YITプレゼン**
 - ノルウェー、スウェーデンでも既存のClassificationリストからIFCの外部ライブラリへの展開を検討中
 - 鉄骨構造のプロジェクト担当は、第1期としてノルディック支部(フィンランド)が担当確実
 - → 期間終了後はイギリスが担当か？
 - フィンランド設備設計の1企業は、シカゴAEC、ドイツACSIにもIAIベースにおけるデモメンバーとして積極的参加中(熱負荷計算のシミュレーション) **SMOGプレゼン**


IAI日本支部 技術統合委員会



海外支部の活動状況 (4)

- **北米支部**(120社) Mr. Ken Herold(HOK)
 - 支部内にマーケティング担当兼事務局のExecutive Directorをアサイン
 - スポンサーを募るためのP4プログラムは順調に展開中
 - 分科会の総合会議(Domain Committee)を月1回開催し、仕様の検討作業等はemailにて行っている
 - 日本支部設備分科会はレビューワーとして北米BS(設備)メイリングリストに参加中
 - → 目的は、ダクト配管のコントロール部分の仕様の提案
- **シンガポール支部**(12社) Mr. Tan Kee Wee(NCB)
 - NCB(国立コンピュータ庁)主導
 - 参加は活発ではないが、IFC仕様そのものは産業全体のITプログラムCORNETの中で利用予定
 - 国内CADベンダーとIFC対応の覚え書きを最近交わした


IAI日本支部 技術統合委員会



海外支部の活動状況 (5)

- **英国支部** (70社) Mr. Jeffery Wix (J.W. Consultant)
- クライアントドメイン (英国空港公団リーダ) というクライアントから見た一種のユーザビリティを仕様に盛り込む分科会が活発
 - → オーストラリアにも参画を働きかけている
- TCのMr. WixがSTEPやEURO関連等他団体への関係が強いため、IFCのいわば渉外担当として活動
- CADベンダーとしては、Intergraphが活発に参画
- Leed大学とは、CIMSteelの関係において、密接に関係

IAI日本支部 技術統合委員会



他団体との協調活動

- **STEPとのリエゾン**
- Mr. Wixが橋渡しをし、覚え書き等の締結には国際評議委員長のMr. Kiviniemiが主に尽力
 - 第1回目の合同会議は、今年度8月ミュンヘンでのITMIにて開催
 - STEP側の代表者は、Prof. Haas
 - 第2回目の合同会議は、来年1月のサンフランシスコでのITMIにて開催予定
- STEPの会議には、IAIより逐次参加
 - 10月の北京会議には、ノルディック支部のSTFメンバーが参加
- 技術委員会同志のコーディネーションはRACリーダのProf. Bazjanacが行う
- **Open GISとのリエゾン**
- ドイツ支部担当 推進中
- **OMGとのリエゾン**
- 英国支部担当 推進中

IAI日本支部 技術統合委員会